

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 443

事務事業名	大村レインボーロード農道保全対策県営負担金事業
-------	-------------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	川崎 正次	内線	425

基本目標	040103	活力に満ちた産業のまち
政策		魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

会計	一般会計		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	6	広域営農団地農道整備事業費	
事業コード	030200	県営事業負担金	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	大村市農村環境計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	広域農道利用者		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	点検診断を行い、必要に応じ修繕・補強などの農道保全(耐震)対策工事を実施することで、大規模地震が発生した場合の、橋りょうの倒壊、損傷の軽減及び落橋等による2次災害の未然防止や施設の長寿命化を図る。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	点検診断事業 : 大村レインボーロード L=14,600m (点検診断及び必要に応じた農道保全対策事業の策定)		
意図を達成するために実施することは何か	保全対策事業 : 施設機能保全(耐震)対策事業 N=13橋 (農道保全対策事業計画に基づく修繕・補強などの農道保全(耐震)対策工事の実施)		
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 33 年度	実施方法	

成果指標名	耐震対策の整備率				算定式等	耐震対策が完了した橋りょう数/耐震対策が必要な橋りょう数
着手前現状値	平成 20 年度	単位	%	0		
完了後計画値	平成 33 年度			100		

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	14,571	37,260	35,639	40,500	35,100	37,458	30,726	
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額								
	項目別進捗率								
用地・補償	実績・計画額								
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額								
	項目別進捗率								
事務費等	実績・計画額								
	項目別進捗率								
合計	実績・計画額	14,571	37,260	35,639	40,500	35,100	37,458	30,726	
	項目別進捗率								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	8,996	37,260	35,639	40,500	35,100	37,458	30,726	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	8,000	33,500	32,000	36,400	31,500	33,700	27,600	
その他								
一般財源	996	3,760	3,639	4,100	3,600	3,758	3,126	
② 人件費(千円)	795	776	2,125	2,119	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.10	0.10	0.29	0.29	県営事業 負担金1式			
時間外勤務(時間)		10	40	5				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	9,791	38,036	37,764	42,619				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度は、一部橋梁の落橋防止装置の設置を完了した。 平成28年度については、昨年度に引き続き機能診断に基づく機能回復を図るため、地元調整等を行い早期対策を講じることにより、2次災害の未然防止や施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減を図る。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村レインボーロードは、県の輸送道路の2次路線としても指定され、国道・主要地方道・一般県道を補完する重要な道路としての役割を有しているが、大規模地震に対して不安定な状況であり、耐震性の補強工事は必要である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	全国的に頻発する地震への対策として、甚大な2次災害を引き起こす恐れのある橋りょうの点検及び補強工事を実施することは緊急を要する。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大規模な地震が発生した時の橋りょうの倒壊、損傷の軽減及び落橋等による2次災害の未然防止や施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減が図られる。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	実施設計において、最も経済的な工法により事業実施を行っている。						
負担割合	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし		
	国の土地改良事業関係補助金交付要綱により定められた負担区分である。						

【ACTION(改善・改革)】 今後の方向性 現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	県営事業として実施され、事業による効果は大きいものであるため、2次災害の未然防止を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	点検診断を行い、早急な対策を講じることにより、2次災害の未然防止や施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。